

講演 早稲田大学創立

# 150周年に向けて—

会『早稲田大学百五十年史』第1巻刊行記念

入場無料  
申込不要

2032年の創立150周年に向けて進めている早稲田大学百五十年史編纂事業により、本年『早稲田大学百五十年史』第1巻が刊行されました。創立記念日に開催される本講演会では、その刊行を記念して、『百五十年史』第1巻の作成秘話やそれに対する批評、150周年を超えて本学が目指すもの、そして開館5年目を迎えた早稲田大学歴史館の今後の展望の3部構成で、歴史を振り返り、本学が150周年の未来に向けて何をを目指すのかお伝えします。

2022年**10月21日**(金/創立記念日) **14時開演**  
(13時開場)

会場：早稲田大学大隈記念講堂 大講堂

第1部

■ **新しい早稲田大学史への挑戦** —『百五十年史』が目ざしたもの—

大日方純夫早稲田大学名誉教授

■ **「頼りにされる大学沿革史」へ** —『早稲田大学百五十年史』を読んで—

西山伸京都大学大学文書館教授

第2部

■ **150周年とその後に向けて**

田中愛治早稲田大学総長

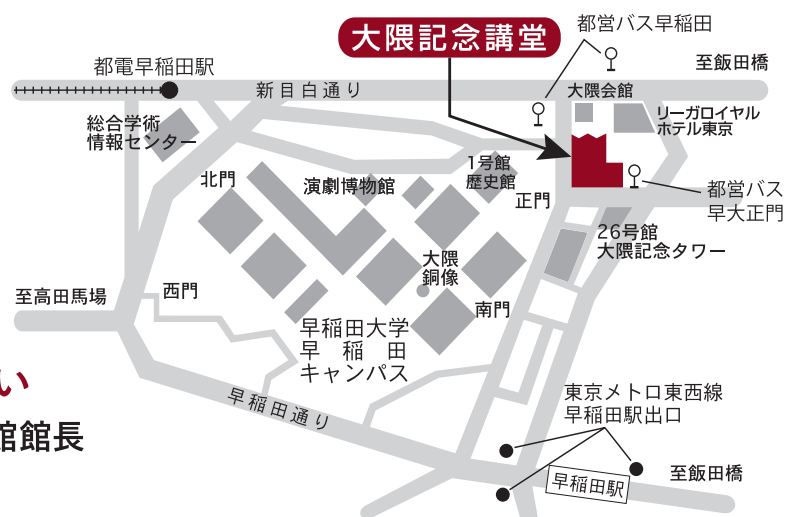
第3部

■ **歴史館の展望とご支援のお願い**

渡邊義浩早稲田大学常任理事・歴史館館長

16時終了予定

問い合わせ：早稲田大学歴史館・文化推進部文化企画課 [daigakushi-event@list.waseda.jp](mailto:daigakushi-event@list.waseda.jp)



## 第1部

## ■ 新しい早稲田大学史への挑戦 —『百五十年史』が目ざしたもの—



## 大日方 純夫 (おびなた すみお)

早稲田大学名誉教授。百五十年史編纂専門委員会前委員長・早稲田大学大学史資料センター前所長。同元文化構想学部・文学部長。

1978年早稲田大学大学院文学研究科博士課程修了。博士(文学)。

主な編著書に『自由民権運動と立憲改進黨』(早稲田大学出版部、1991年)、『大隈重信関係文書』(全11巻、共編、みすず書房、2004~2015年)、『小野梓 — 未完のプロジェクト』(富山房インターナショナル、2016年)などがある。早稲田大学編『大隈重信演説談話集』(岩波文庫、2016年)・『大隈重信自叙伝』(同、2018年)の編集を担当。

## ■ 「頼りにされる大学沿革史」へ —『早稲田大学百五十年史』を読んで—



## 西山 伸 (にしやま しん)

京都大学大学文書館教授。京都大学百二十五年史編集委員会副委員長兼百二十五年史編集室長。

1993年京都大学大学院文学研究科博士課程を単位取得退学。

主な編著書に『学校沿革史の研究 総説』(共著、野間教育研究所、2008年)、『学校沿革史の研究 大学編1』(共著、野間教育研究所、2013年)、『学校沿革史の研究 大学編2』(共著、野間教育研究所、2016年)、『京大生・小野君の占領期獄中日記』(共著、京都大学学術出版会、2018年)などがある。

## 第2部

## ■ 150周年とその後に向けて



## 田中 愛治 (たなか あいじ)

早稲田大学総長。1975年早稲田大学政治経済学部卒業。1985年The Ohio State University 大学院政治学研究科博士課程修了、Ph.D(政治学)取得。東洋英和女学院大学助教授、青山学院大学教授、早稲田大学政治経済学術院教授等を経て現職。2006年から早稲田大学教務部長、理事(教務部門総括)、グローバルエデュケーションセンター所長を歴任。文部科学省中央教育審議会委員、日本学術振興会委員等を多数務めた。2014年7月~2016年7月International Political Science Association会長。現在、日本私立大学連盟会長、国際研修交流協会理事長。主な著書に『熟議の効用、熟慮の効果』(編著、勁草書房、2018年)、『政治学』(共著、有斐閣、2003年)などがある。

## 第3部

## ■ 歴史館の展望とご支援のお願い



## 渡邊 義浩 (わたなべ よしひろ)

早稲田大学常任理事・文学学術院教授。早稲田大学歴史館館長・百五十年史編纂委員長。

1991年筑波大学大学院博士課程歴史・人類学研究科修了。文学博士。

主な編著書に『大隈重信と早稲田大学』(早稲田大学出版部、2022年)、『全譯後漢書』全十九巻(汲古書院、2001~16年。大隈記念学術褒賞受賞)、『論語集解』上・下巻(早稲田大学出版部、2021年)、『中国における正史の形成と儒教』(早稲田大学出版部、2021年)などがある。